

精神薄弱者の職業準備に関する調査研究Ⅲ

精神薄弱者が安定した職業生活を送るためには、職業生活に備えるための計画的な準備が必要である。本調査研究は、昭和60～63年の3ヶ年計画で行われ、精神薄弱者の職業準備に関して、家庭、教育関係、指導相談の各施設及び職場で

の各段階における実情を調査し、その問題点を分析、整理するとともに、典型的な具体的事例を収集し、実践の場での参考となるよう報告書を作成した。

<主査>

・高藤 昭 法政大学教授

<研究委員>

・西村晋二 東京心身障害者職業センター主任カウンセラー

・道脇正夫 職業訓練大学校教授

・森 隆男 都立労働研究所研究員

・館 暁夫 雇用職業総合研究所研究員

・山岸善和 江戸川学園講師

<専門委員>

・北島裕一 豊島通勤寮寮長

・白井俊子 東京都心身障害者福祉センター精神薄弱科科长

・宮崎秀憲 城北養護学校教頭

<調査協力者>

・蟻塚昌克 日本福祉教育専門学校専任講師

・小野 剛 神奈川総合リハビリテーションセンターリハビリテーション部副部長

・小玉広輝 身体障害者通所授産施設木馬工房所長

・渡辺裕子 東京都神経科学総合研究所研究員

目次

要旨

第一章	本調査研究の意義とねらい
第一節	本調査研究の趣旨および背景
第二節	「職業準備」の概念
第三節	調査研究の課題と方法
第二章	職業準備の現状と問題点
第一節	はじめに
第二節	事業所調査の分析
第三節	相談・評価機関調査の分析
第四節	教育・訓練施設調査の分析
第五節	家庭調査の分析
第六節	精神薄弱者個人調査の分析
第三章	職業準備の今後
第一節	全体的考察
第二節	提言
補章	参考となる職業準備プログラム例